

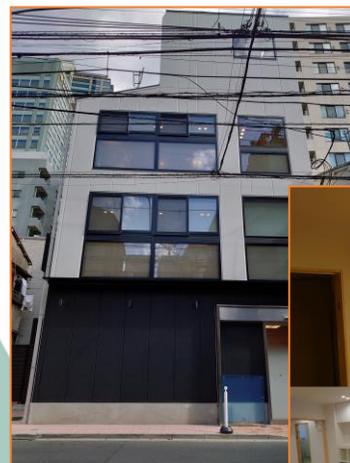


株式会社シー・エス・ランバー

東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
証券コード 7808

2022年5月期第2四半期決算説明会

2022年1月26日開催



※写真はいずれも2021年に開所した当社賃貸保育所

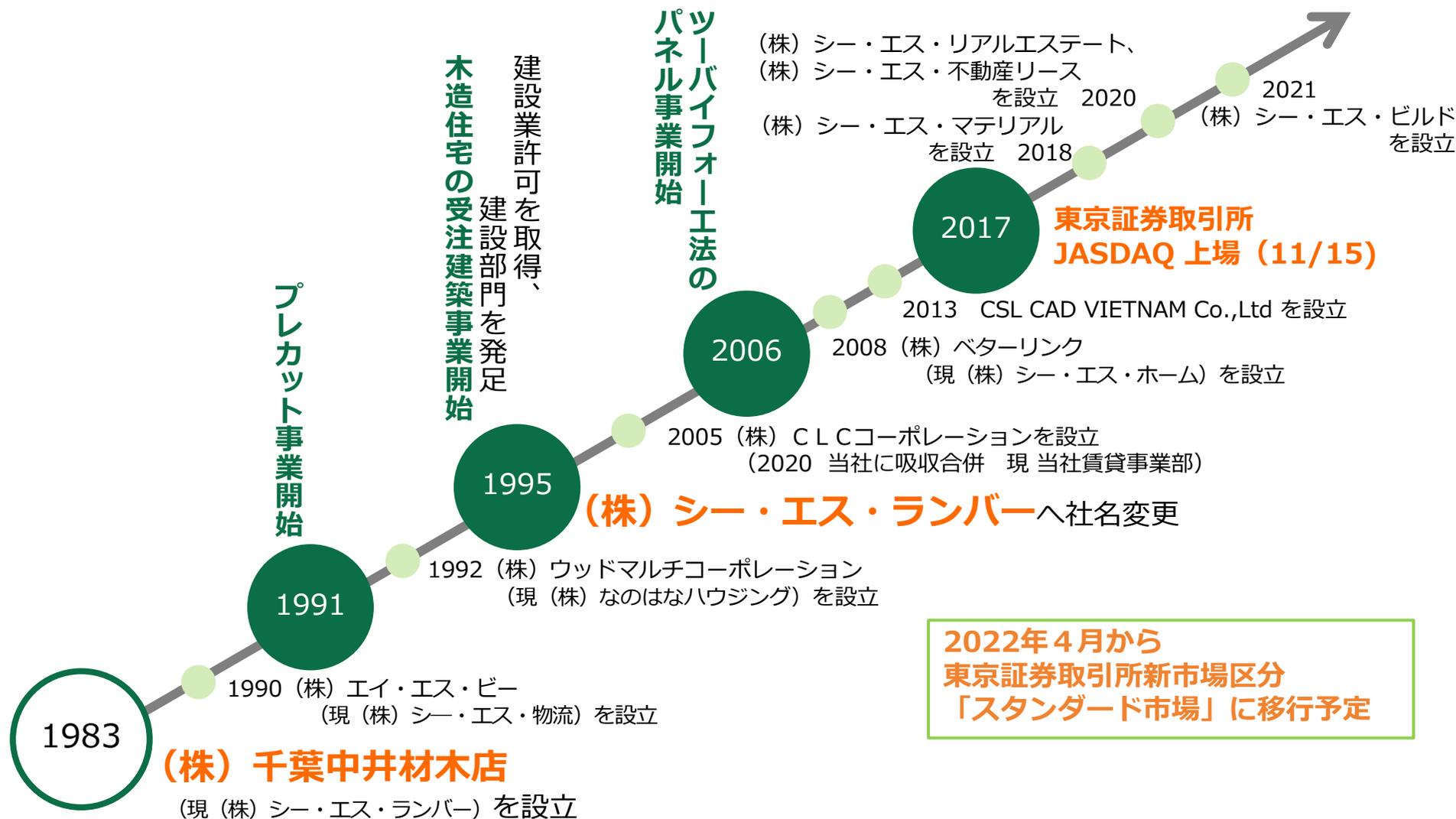
1. 当社の概要
2. 2022年5月期 第2四半期決算概要
3. 2022年5月期業績予想
4. ウッドショックの現状と今後の見通し
5. 参考資料

Customer Satisfaction through Lumber 木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

会社名	株式会社シー・エス・ランバー	 <p>幕張本郷 本社</p>
本社所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷一丁目16番3号	
代表者	代表取締役社長 中井 千代助	
設立	1983年4月1日	
資本金	529百万円	
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレカット事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 在来軸組工法における設計、木材のプレカット加工及び販売 ● ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売 2. 建築請負事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 木造住宅・大型木造施設の建築請負 3. 不動産賃貸事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産賃貸・管理 4. その他事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産の販売 	
従業員数	連結 325名 他に臨時従業員 88名	

(2021年11月末現在)

木材を熟知する材木店から、木造建築のトータルサービス企業へ



2022年4月から
東京証券取引所新市場区分
「スタンダード市場」に移行予定

1. 当社の概要
2. 2022年5月期 第2四半期決算概要
3. 2022年5月期業績予想
4. ウッドショックの現状と今後の見通し
5. 参考資料

2022年5月期 第2四半期決算概要



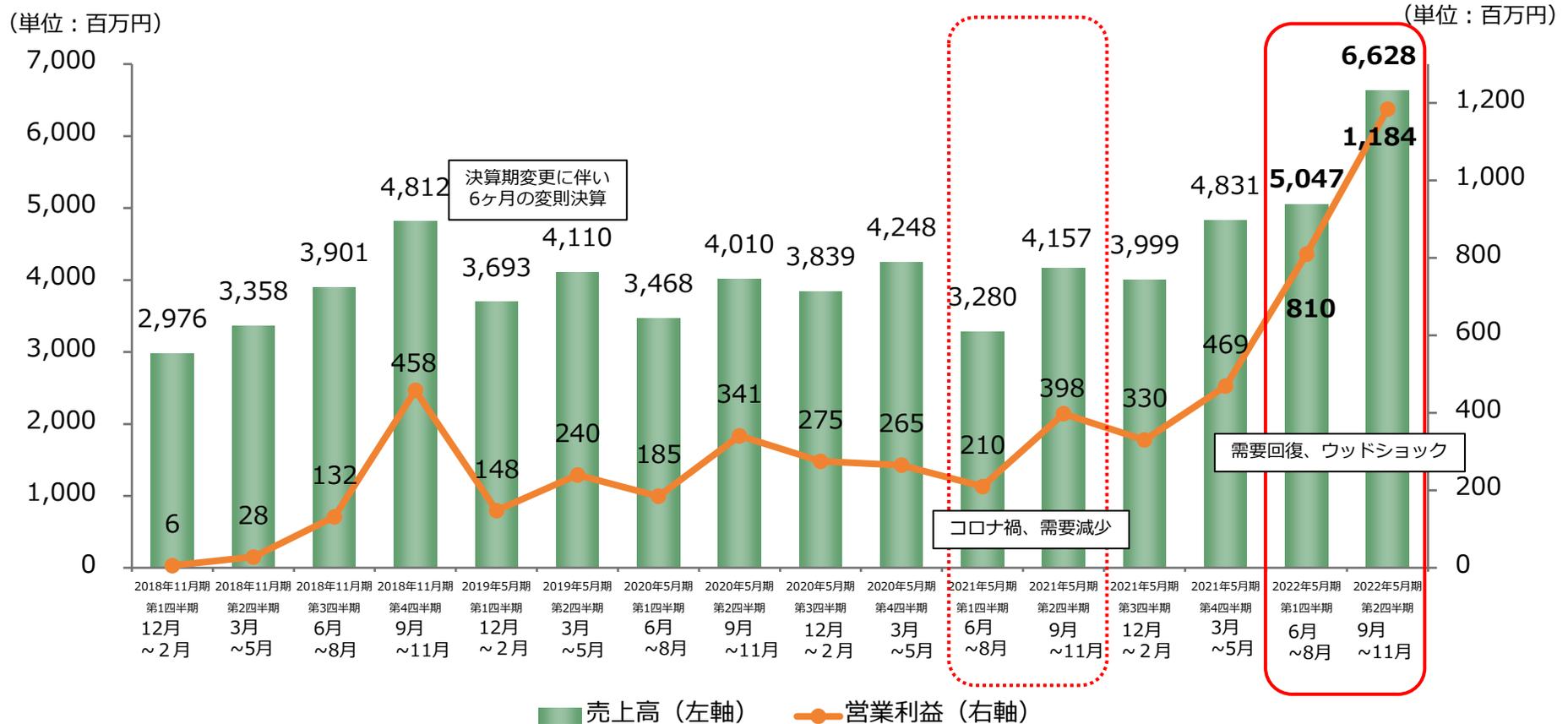
ウッドショックにより市場が未曾有の混乱、その影響を受けるも、プレカットを中心に売上高も利益も大幅に増加

単位：百万円	2021年5月期第2四半期		2022年5月期第2四半期				2022年5月期	
	実績		実績		前年同期比		予想	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	増減率
売上高	7,438	100.0%	11,676	100.0%	4,237	57.0%	22,000~ 24,000	35.2~ 47.5%
プレカット	6,007	80.8%	9,800	83.9%	3,792	63.1%		
建築請負	1,391	18.7%	2,163	18.5%	771	55.5%		
不動産賃貸	298	4.0%	353	3.0%	54	18.1%		
その他	232	3.1%	178	1.5%	△53	△23.1%		
粗利益	1,700	22.9%	3,162	27.1%	1,462	86.0%		
プレカット	1,304	17.5%	2,694	23.1%	1,390	106.5%		
建築請負	142	1.9%	173	1.5%	31	21.9%		
不動産賃貸	230	3.1%	279	2.4%	48	21.2%		
その他	28	0.4%	18	0.2%	△10	△36.6%		
販売費及び一般管理費	1,091	14.7%	1,167	10.0%	76	7.0%		
営業利益（セグメント利益）	609	8.2%	1,995	17.1%	1,385	227.5%	3,400~ 3,550	141.3~ 152.0%
プレカット	353	4.7%	1,650	14.1%	1,297	367.2%		
建築請負	△9	△0.1%	44	0.4%	53	-		
不動産賃貸	230	3.1%	275	2.4%	45	19.7%		
その他	13	0.2%	0	0.0%	△12	△94.9%		
経常利益	574	7.7%	1,970	16.9%	1,396	243.0%	3,200~ 3,400	138.1~ 153.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	388	5.2%	1,232	10.6%	844	217.3%	1,900~ 2,000	113.3~ 124.5%

2022年5月期 第2四半期業績推移



コロナ禍の中にありながら、前年同期とは状況が大きく異なる。住宅需要が回復する中、フル生産を続けた



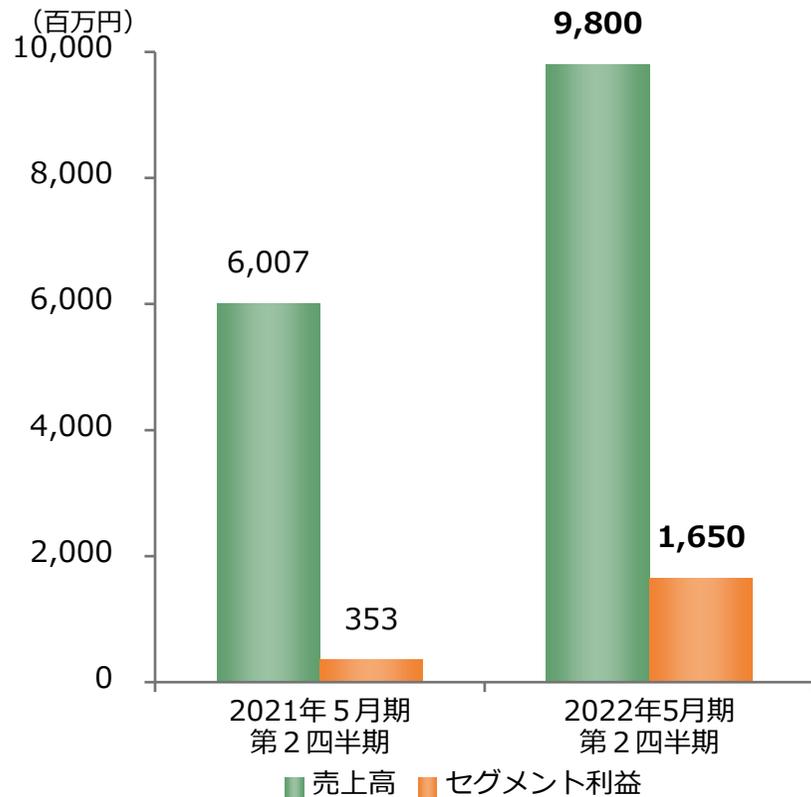
- ・前年の上半期は、緊急事態宣言発令の影響により当社もプレカットの受注が減少。その後GoTo トラベルなどの経済活動再開の機運も見られ、住宅の購入も対前年比での減少幅が縮まるようになった。当社では「新規先の開拓」にも注力。
- ・今年の上半期は、住宅需要はすっかり回復したが、逆に木材が不足する状況が発生。当社はいち早く材料を確保し、受注制限をしない会社方針を出して事業を継続。既存先、新規先ともにプレカットをできる限り提供。

2022年5月期 第2四半期プレカット事業（前年同期比）



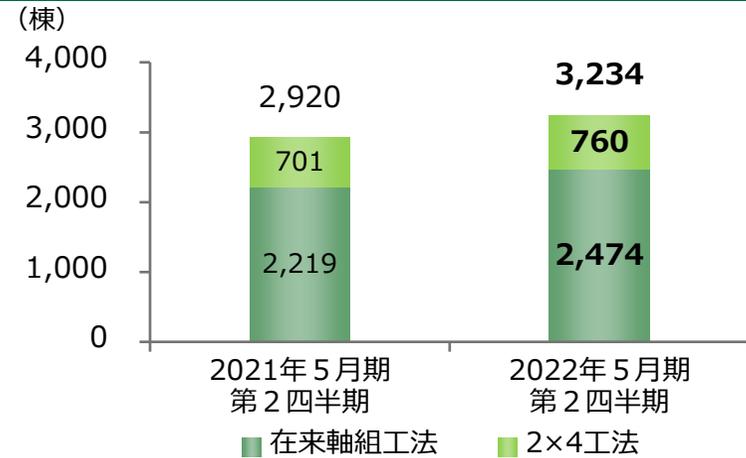
木材が不足しているからこそ材料を余すことなく全部使うことを心掛けた。また従来から注力していた新規のお客さま開拓が花を開いた

売上高・セグメント利益

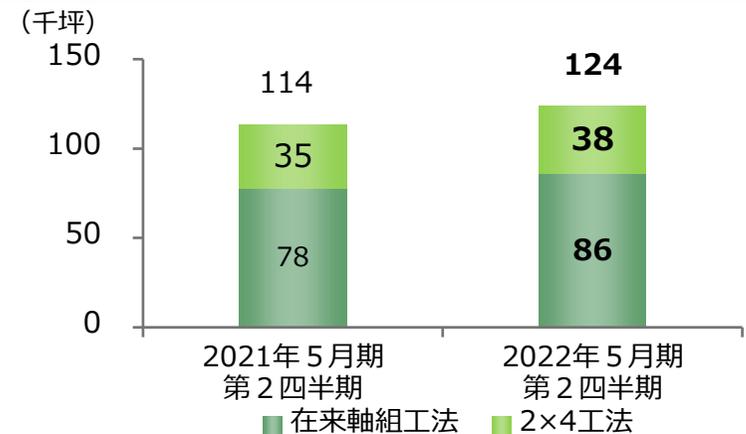


※歩留まり徹底の材木購入、工程上の無駄排除による生産性向上、新規先開拓や利幅確保、一括配送によるトラック台数削減や1台一日二便体制、など

出荷棟数



出荷坪数

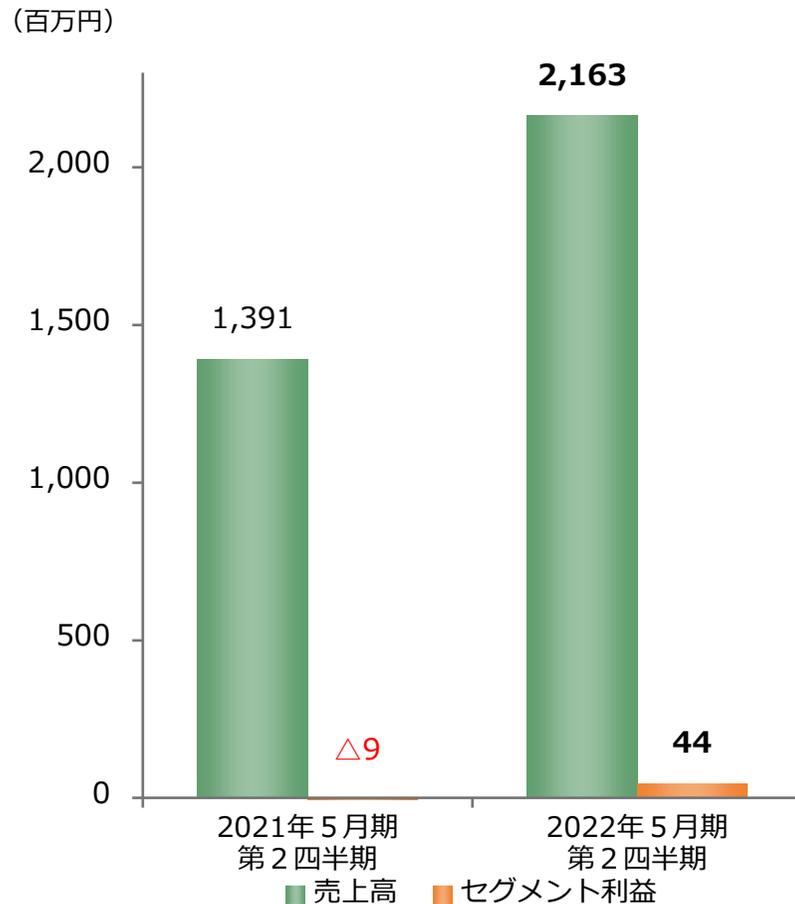


2022年5月期 第2四半期建築請負事業（前年同期比）

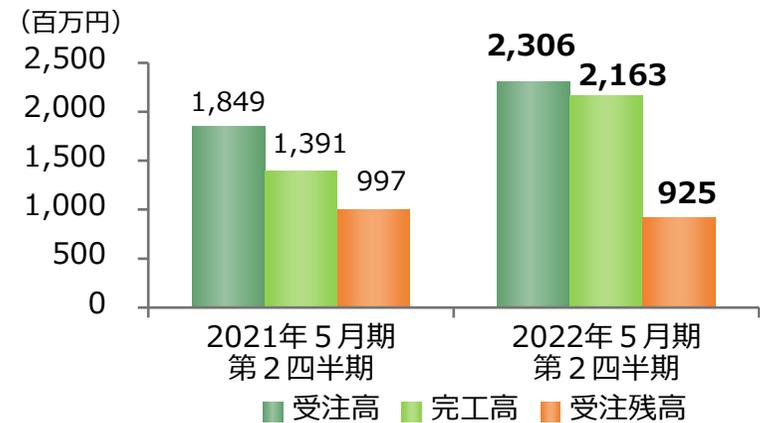


「新マネジメント体制」による管理徹底が寄与して利益確保。ただしまだ業績改善の途上にあり

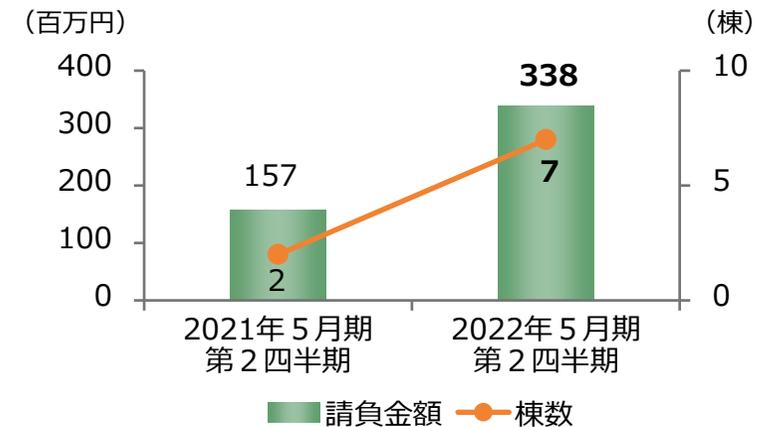
売上高・セグメント利益



受注・完工・受注残



大型(50坪以上)木造住宅・施設

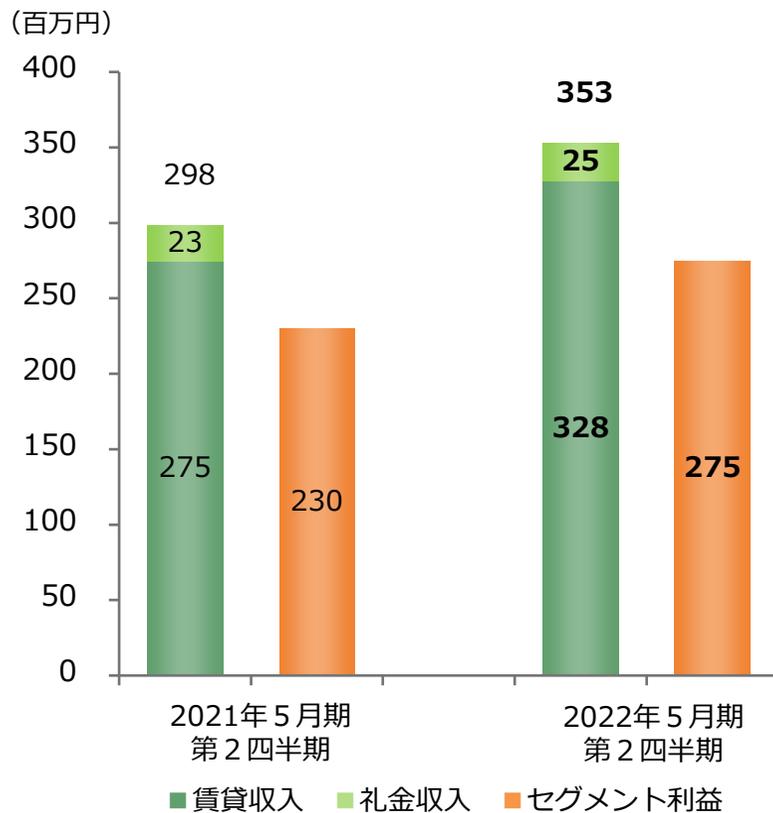


2022年5月期 第2四半期不動産賃貸事業（前年同期比）



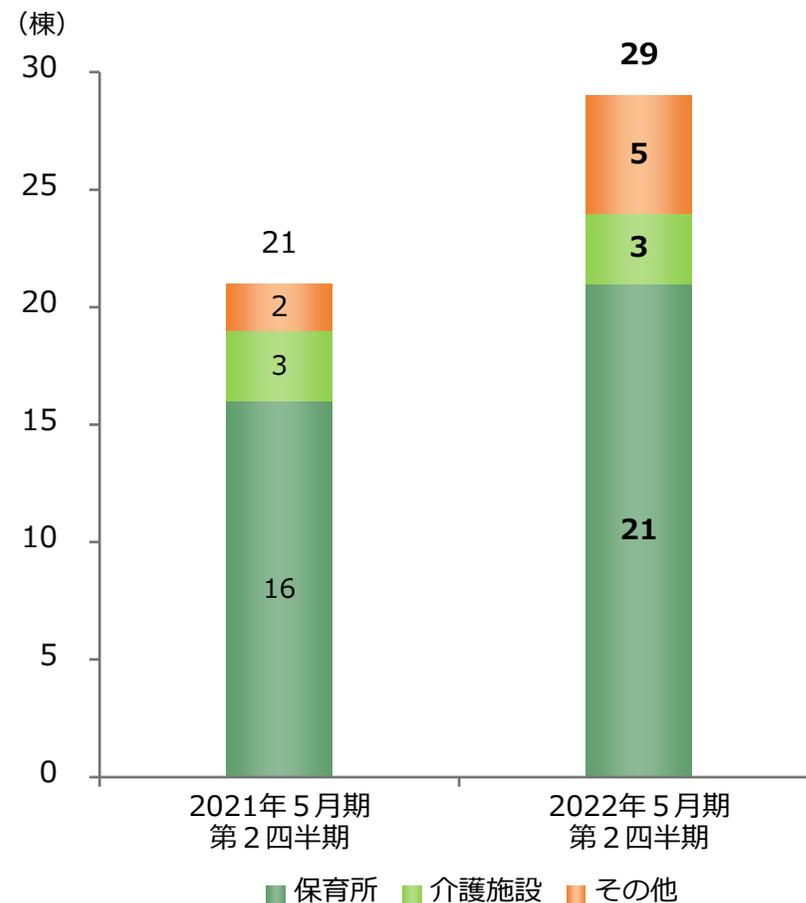
2022年4月に新規保育所3か所開所。また駅近好立地・好住環境の共同住宅3棟を購入

売上高・セグメント利益



貸貸収入・礼金収入の推移は、35ページもご参照

賃貸及び管理棟数



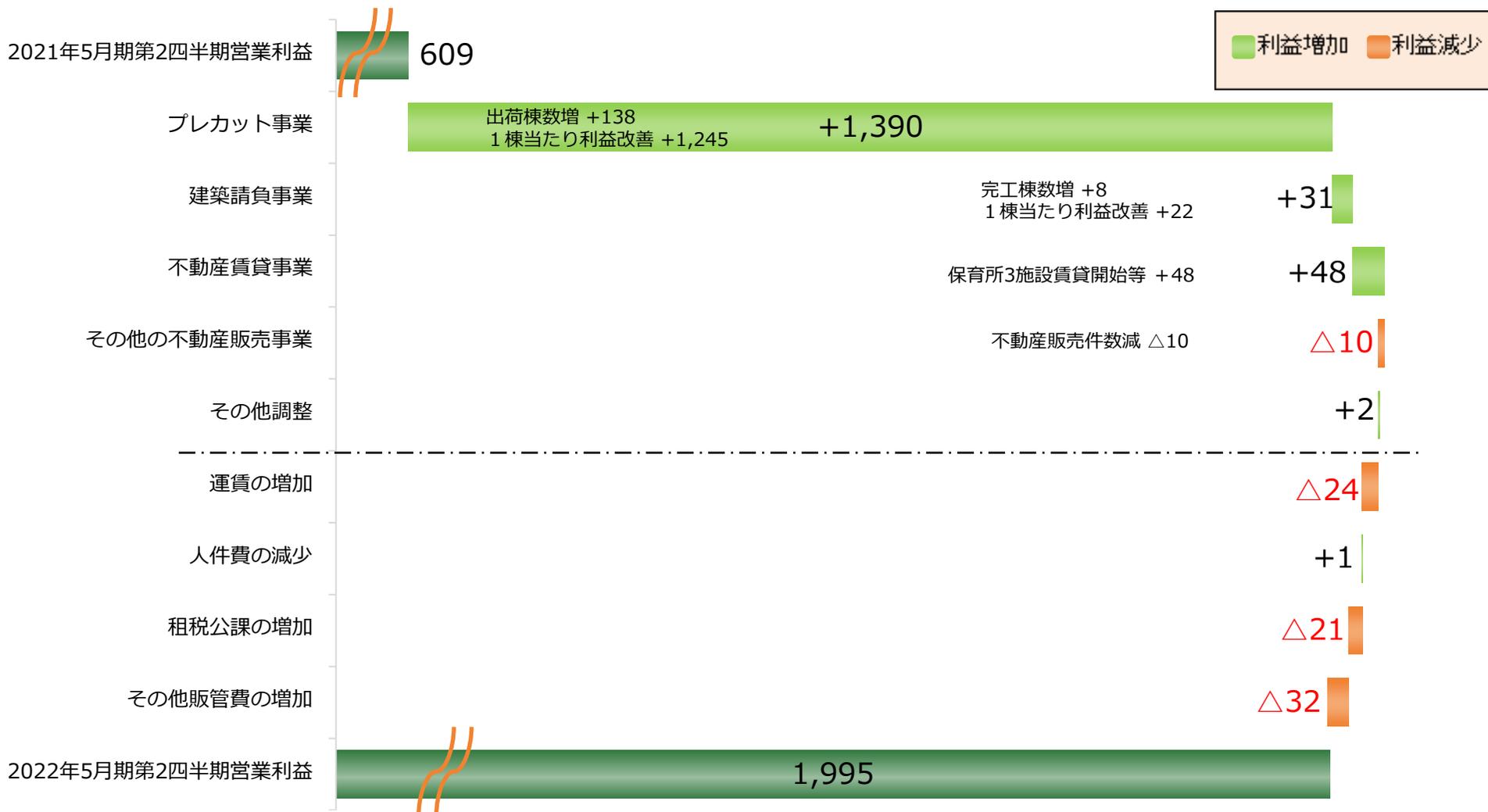
その他物件はシー・エス・不動産リース3棟追加

2022年5月期 第2四半期営業利益の増減（前年同期比）



プレカット事業の1棟当たり利益改善が営業利益増加の主要因。販売価格への転嫁を進めた

(単位：百万円)



2022年5月期 第2四半期末貸借対照表



単位：百万円	2021年5月期		2022年5月期第2四半期			
	実績		実績		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	6,614	41.1%	9,570	49.2%	2,955	44.7%
現金及び預金	2,428	15.1%	3,074	15.8%	645	26.6%
受取手形及び売掛金	2,786	17.3%	4,587	23.6%	1,800	64.6%
販売用不動産	498	3.1%	766	3.9%	268	53.9%
製品・仕掛品	344	2.1%	471	2.4%	127	36.9%
原材料及び貯蔵品	378	2.4%	605	3.1%	226	59.8%
その他	177	1.1%	65	0.3%	△111	△63.1%
固定資産	9,474	58.9%	9,872	50.8%	398	4.2%
有形固定資産	8,815	54.8%	9,228	47.5%	413	4.7%
無形固定資産	132	0.8%	117	0.6%	△15	△11.4%
投資その他の資産	526	3.3%	526	2.7%	0	0.0%
資産合計	16,089	100.0%	19,442	100.0%	3,353	20.8%
流動負債	6,097	37.9%	7,756	39.9%	1,658	27.2%
支払手形及び買掛金	3,048	18.9%	4,302	22.1%	1,253	41.1%
短期借入金	1,049	6.5%	899	4.6%	△149	△14.3%
1年以内償還社債	100	0.6%	100	0.5%	0	0.0%
1年以内返済予定の長期借入金	398	2.5%	436	2.2%	38	9.6%
未払法人税等	346	2.2%	776	4.0%	429	124.2%
その他	1,155	7.2%	1,241	6.4%	86	7.5%
固定負債	5,794	36.0%	6,354	32.7%	560	9.7%
社債	350	2.2%	300	1.5%	△50	△14.3%
長期借入金	4,582	28.5%	5,284	27.2%	701	15.3%
リース債務	427	2.7%	336	1.7%	△90	△21.2%
その他	785	4.9%	433	2.2%	△351	△44.7%
負債合計	11,892	73.9%	14,111	72.6%	2,219	18.7%
株主資本合計	4,085	25.4%	5,244	27.0%	1,159	28.4%
純資産合計	4,196	26.1%	5,331	27.4%	1,134	27.0%
負債純資産合計	16,089	100.0%	19,442	100.0%	3,353	20.8%

売上増加に伴い、
売掛金、買掛金な
どの運転資金勘定
も増加

賃貸不動産の増加
は、保育所の土地
や共同住宅の取得
など

2022年5月期 第2四半期キャッシュフロー



営業活動によるキャッシュフローと投資活動によるキャッシュフローとがほぼバランス。投資回収資金を更なる投資に回すことができた

単位：百万円	2021年5月期第2四半期実績	2022年5月期第2四半期実績
営業活動によるキャッシュフロー	426	911
投資活動によるキャッシュフロー	△ 313	△ 577
財務活動によるキャッシュフロー	△ 441	330
現金及び現金同等物の増減額	△ 328	664
現金及び現金同等物の期首残高	2,277	2,373
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,949	3,037

単位：百万円	2021年5月期第2四半期実績	2022年5月期第2四半期実績
固定資産の取得による支出	307	585
減価償却費	203	209

1. 当社の概要
2. 2022年5月期 第2四半期決算概要
3. 2022年5月期業績予想
4. ウッドショックの現状と今後の見通し
5. 参考資料

2022年5月期 業績予想



木材価格に多少の落ち着きも見られ始めたので、今期下期は上期と比べ、売り上げ横ばい、利益は減少方向

単位：百万円	2021年5月期 実績		2022年5月期 予想（レンジの中央値を使用）		
	金額	構成比	金額	構成比	対前期増減率
売上高	16,269	100.0%	23,000	100.0%	41.4%
プレカット	12,717	78.2%	17,800	77.4%	40.0%
建築請負	3,746	23.0%	3,900	17.0%	4.1%
不動産賃貸	624	3.8%	700	3.0%	12.0%
その他	381	2.3%	600	2.6%	57.3%
粗利益	3,650	22.4%	5,700	24.8%	56.2%
プレカット	2,748	16.9%	4,800	20.9%	74.6%
建築請負	382	2.4%	330	1.4%	△13.8%
不動産賃貸	476	2.9%	520	2.3%	9.1%
その他	42	0.3%	50	0.2%	16.6%
営業利益（セグメント利益）	1,408	8.7%	3,475	15.1%	146.7%
プレカット	798	4.9%	2,875	12.5%	259.9%
建築請負	85	0.5%	70	0.3%	△18.2%
不動産賃貸	459	2.8%	505	2.2%	10.0%
その他	12	0.1%	25	0.1%	99.8%
経常利益	1,343	8.3%	3,300	14.3%	145.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	890	5.5%	1,950	8.5%	118.9%

2022年5月期 業績予想

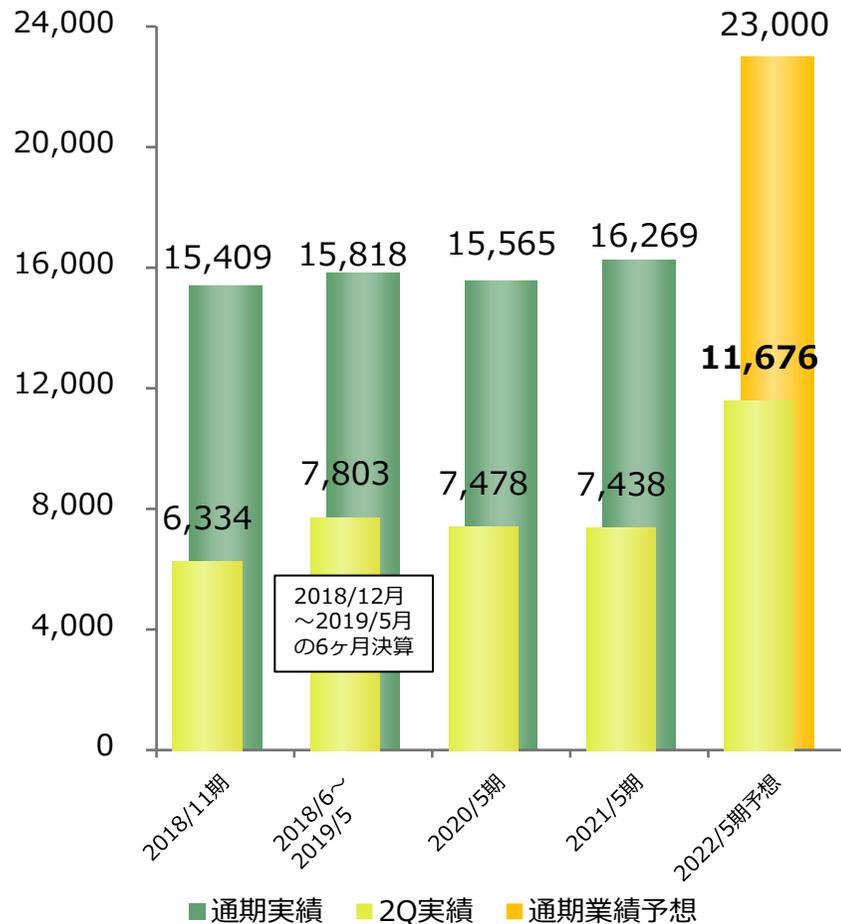


2022年5月期は、前期比で売上高は41.4%、営業利益は146.7%の伸びを見込む

売上高

(単位：百万円)

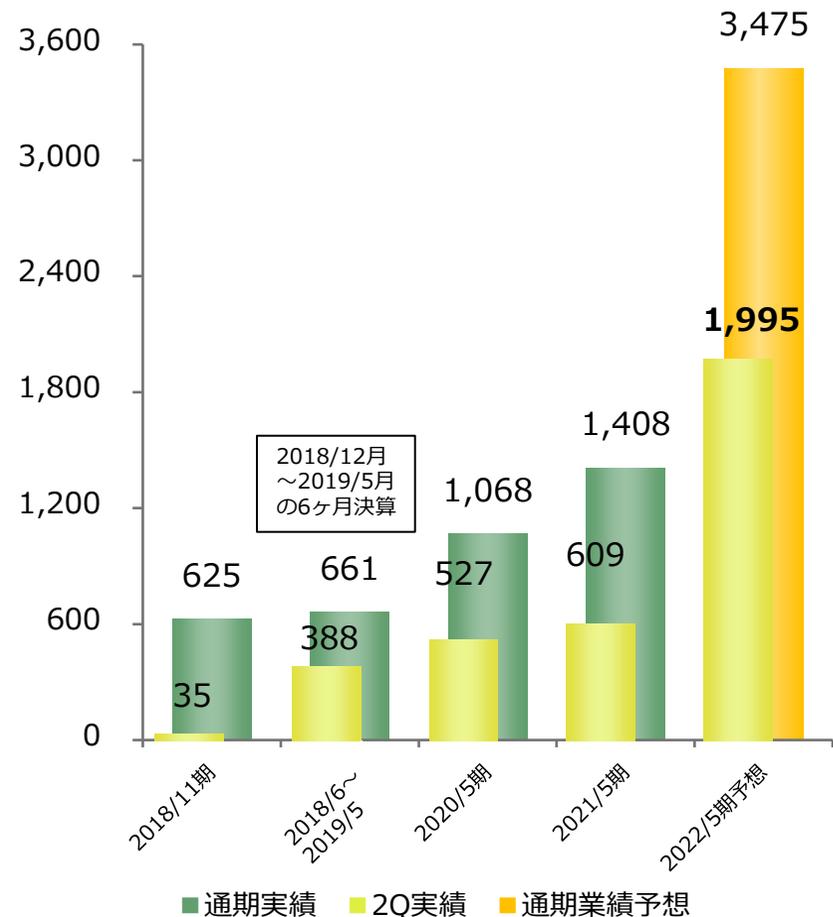
通期業績予想はレンジ
の中央値を使用



営業利益

(単位：百万円)

通期業績予想はレンジ
の中央値を使用



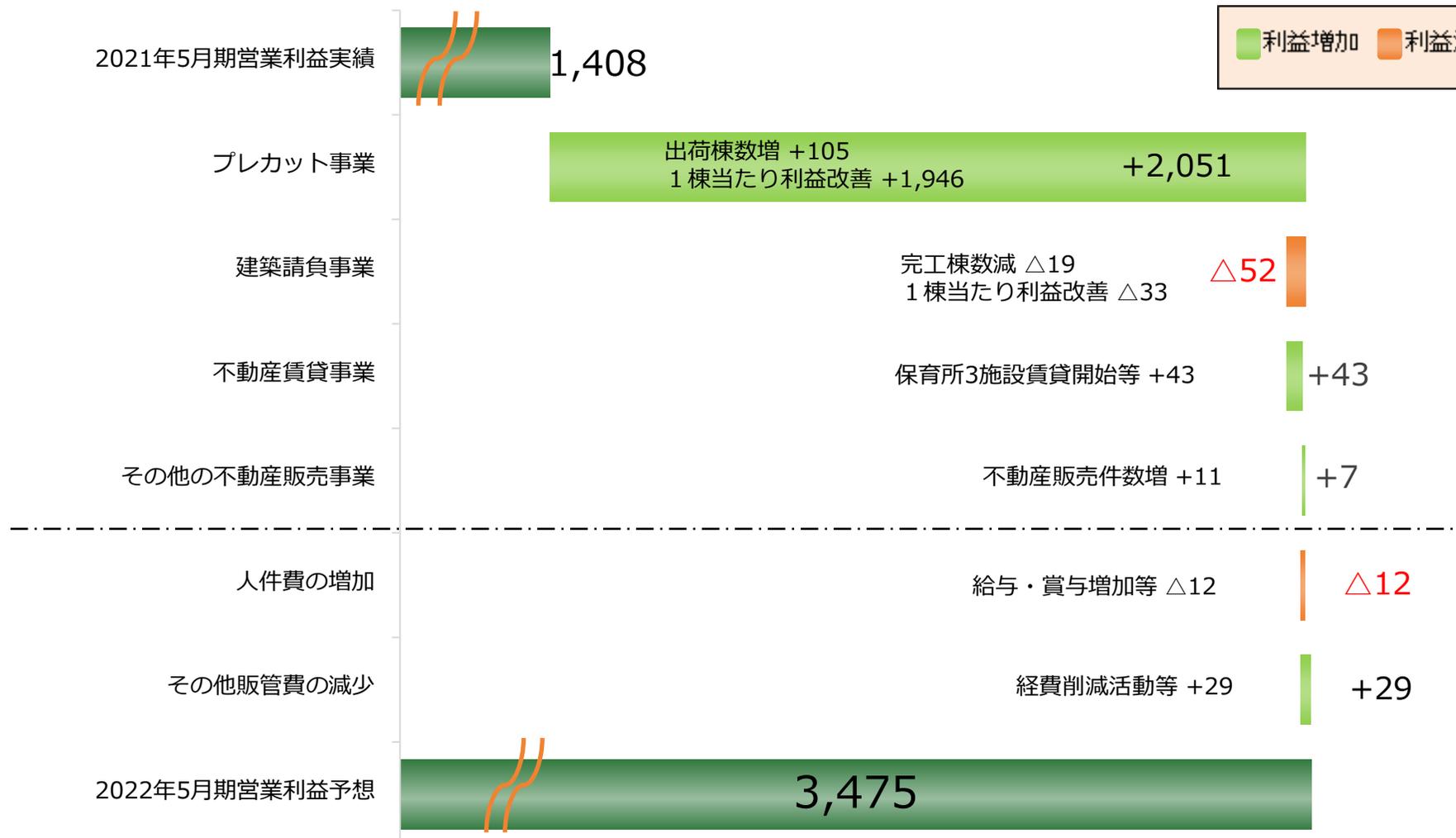
※2019年5月期は、特殊要因（消費税増税駆込み需要効果）を除く値で読み替えを実施

2022年5月期業績予想 営業利益の増減（前期比）



主にプレカット事業の1棟当たり利益改善が、営業利益全体を押し上げる見込み

(単位：百万円)

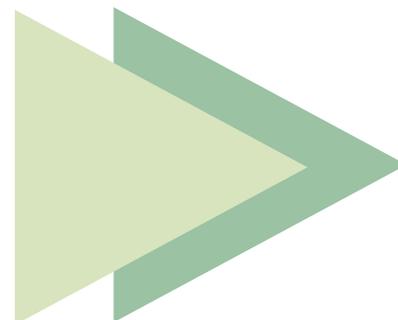


2022年5月期の配当は、80円（創業40周年記念配当：20円を含む）を予想

配当政策の基本方針

将来の事業展開と
経営体質強化に必要な
内部留保の確保

継続性・安定性



経営成績に応じた
配当の実施

配当金額

2020年5月期 1株当たり年間配当金（実績） : 50円（期末50円）
2021年5月期 1株当たり年間配当金（実績） : 50円（期末50円）
2022年5月期 1株当たり年間配当金 : 80円（期末80円）
（予想）（内、20円は創業40周年記念配当）

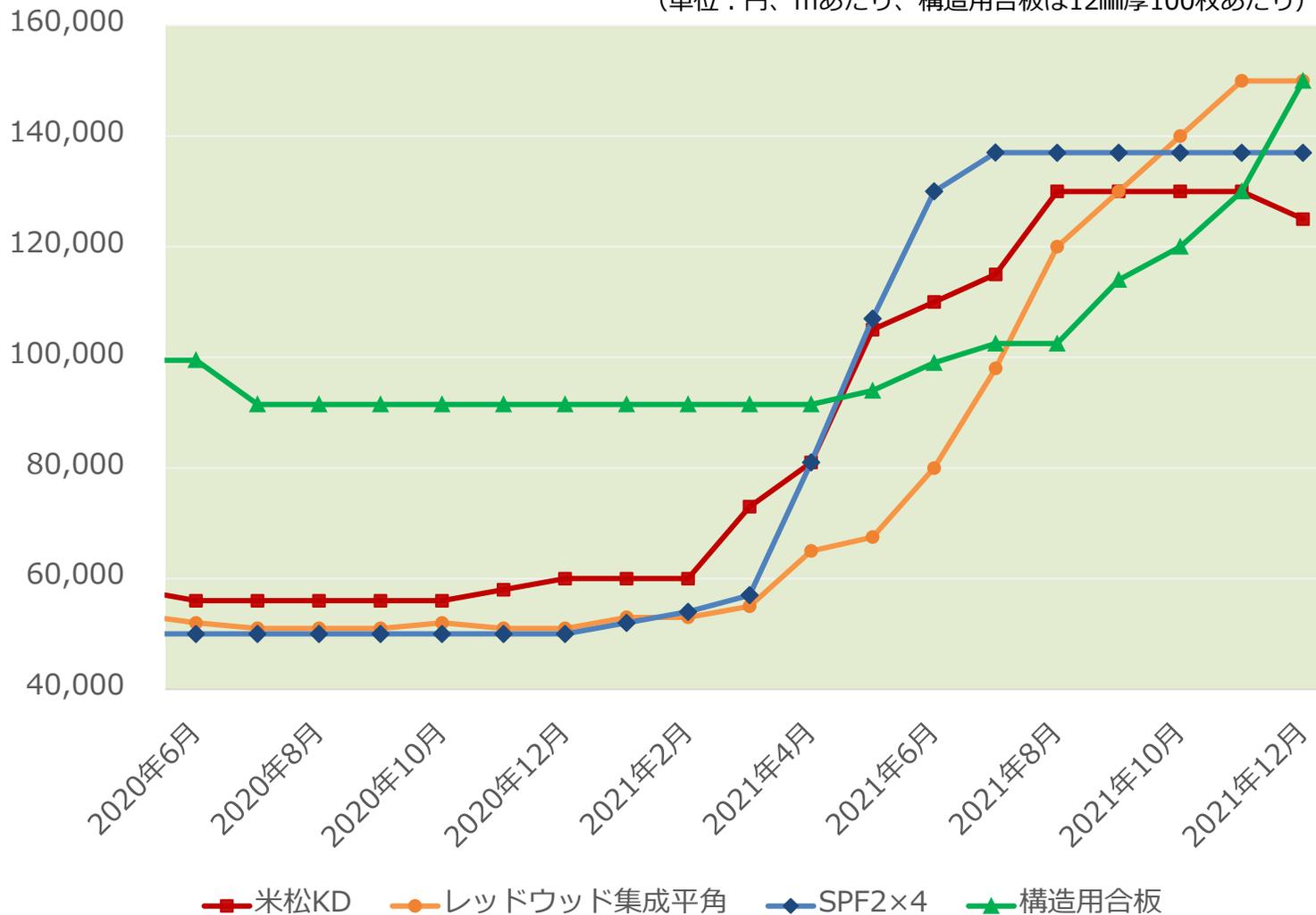
1. 当社の概要
2. 2022年5月期 第2四半期決算概要
3. 2022年5月期業績予想
4. ウッドショックの現状と今後の見通し
5. 参考資料

国内の木材価格動向



2021年3月頃から木材不足が顕著になり価格が高騰。価格は現在も高止まりあるいは上昇

(単位：円、㎡あたり、構造用合板は12mm厚100枚あたり)



出所：日刊木材新聞

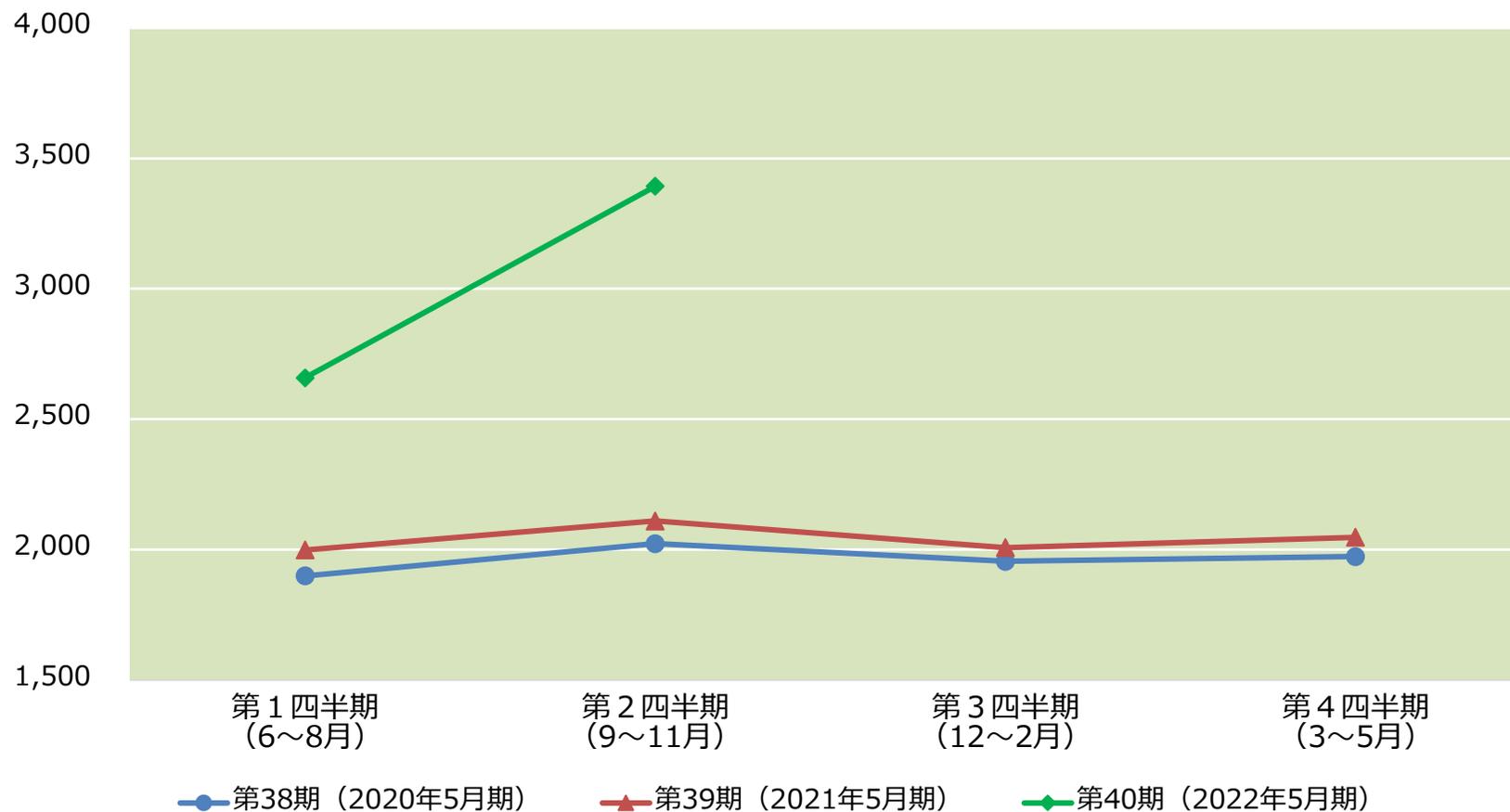
当社プレカットの販売価格（1棟あたり平均）



材料価格の高騰を踏まえ、従来2百万円前後で推移していた販売単価をお客さま同意のもと引き上げ

(単位：千円、棟あたり)

1棟当たりのプレカット平均販売価格の推移（当社）



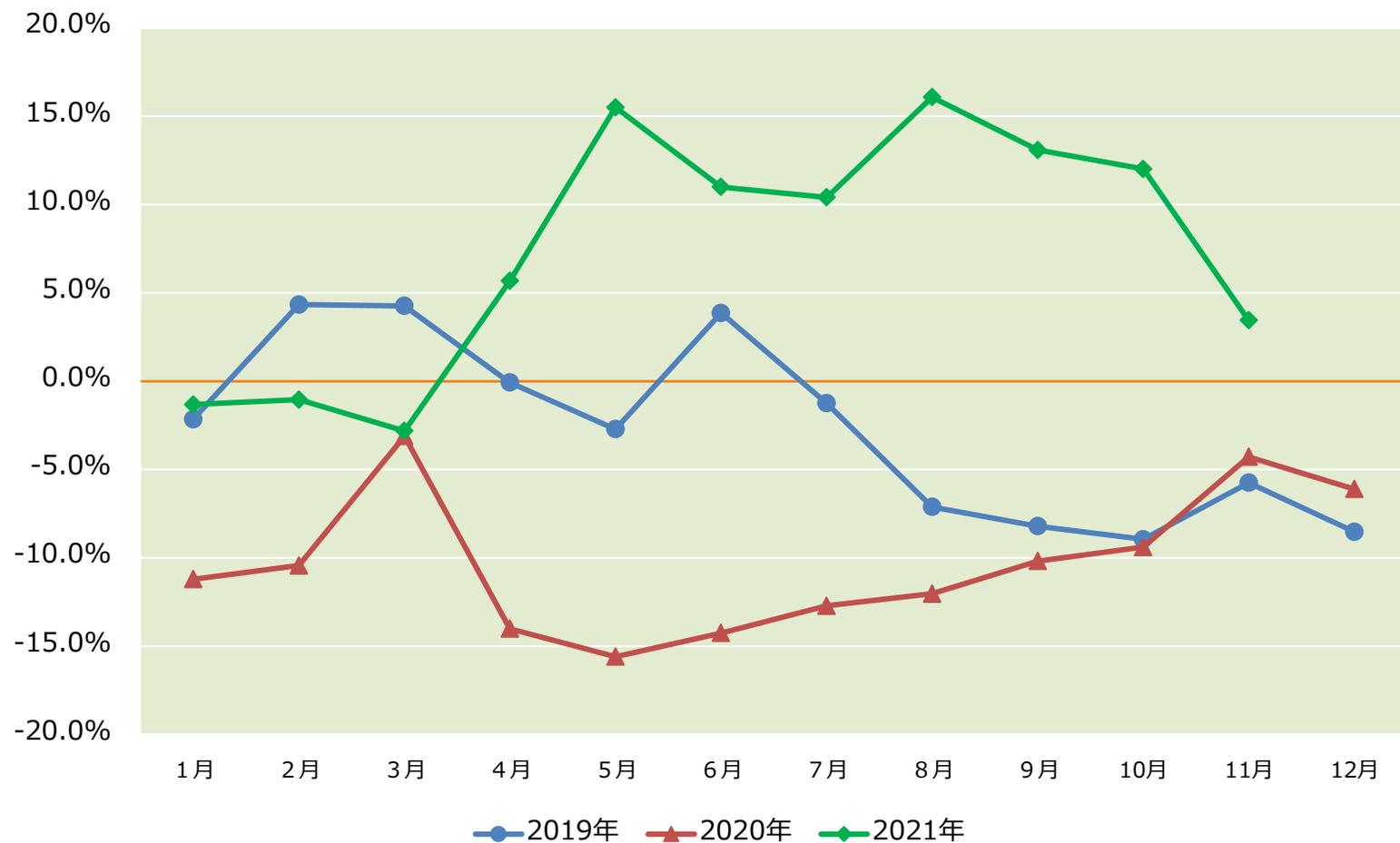
出所：当社決算短信

新設住宅着工戸数（木造）の増減



2020年の住宅着工戸数は、コロナ感染流行が影響して前年比落ちたが、2021年は反動で上昇

新設住宅着工戸数（木造）の対前年同月比率



出所：国土交通省「住宅着工統計」

木材の今後はどうなるのか

数量の不足と高い価格水準は今後も続くと予想。需要が供給を上回るため

【供給】 世界中での人手不足、材料不足、生産能力不足

- ・ コロナ感染流行による勤務制限やロックダウンが続く
- ・ 山火事、洪水、大寒波など自然災害が常態化
- ・ 国内では国産材需要が増えても、乾燥設備、機械設備など追いつかず

【需要】 巣ごもり化による住宅需要の高止まり

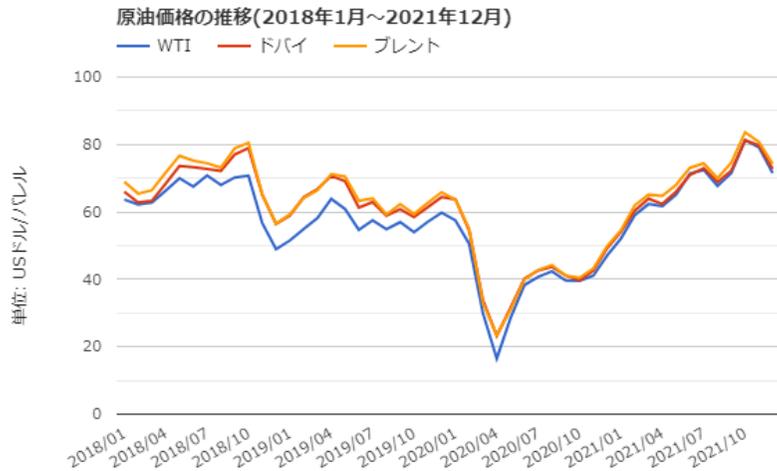
【需要】 カーボンニュートラルという新たな価値観

- ・ 自動車EV化が注目されているが、いずれ森林資源の活用も点火

【関連】 エネルギーや物流のひっ迫

- ・ 半導体、化学製品などあらゆる製品・サービスで品不足と価格上昇
- ・ 建材や住宅設備が不足し住宅が完成しない事態にも

木材や建築物を取り巻くエネルギーや物流コストも上昇しており、全般的な価格上昇圧力

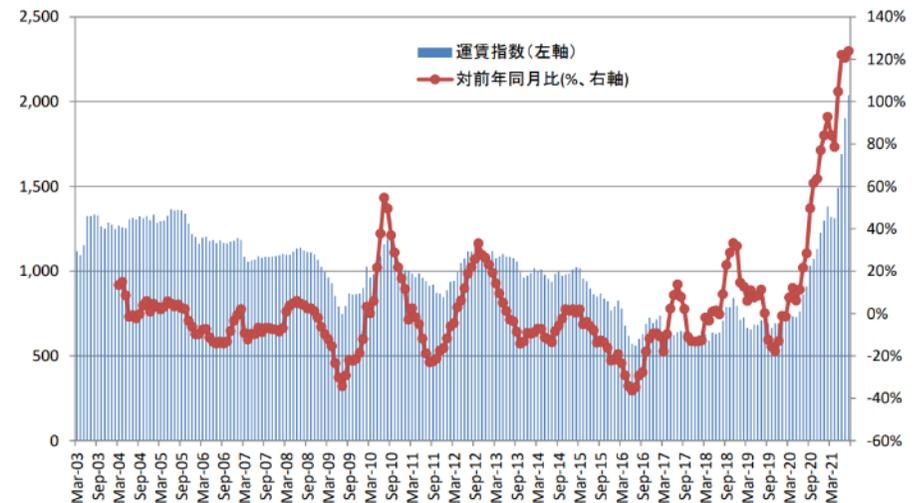


出所: 河内淳氏「世界の経済・統計情報サイト(世界経済のネタ帳)」

船舶の運賃は従来の2倍へ。港湾での荷積みが人手不足状態であり、船舶の滞留時間が長期化。船舶の動きが遅くなっているため、コンテナも偏在。

原油価格は2020年4月に底を打って以来一貫して上昇基調。製品・サービス価格に対する影響が大きく、建築資材も全般的に上昇局面にある。

北米往航西岸(CCFI W/C AMERICA)・月別運賃指数の推移



出所: (公財) 日本海事センター2021年12月資料

①プレカット事業

建て方職人体制を構築

2021年6月に建て方事業に特化した子会社（株式会社シー・エス・ビルド）を設立し、外国人を中心とした建て方職人を育成することで、加工、物流、建て方までを一気通貫とする体制を構築中。職人不足が進む中、プレカット販売の有力なオプションとしている。ただし、新型コロナウイルス感染拡大による入国制限が続いており、国内で建て方職人を手配して業務を回している。

ログハウスの加工について100%内製化を実現

住宅地の景観に溶け込むことができる角ログの加工に加えて、メンテナンスフリーとなる保存剤注入木材、日常生活をするのに使い勝手の良い内装を提供することにより、新たな市場を開拓中。

営業部門の強化

新規取引先開拓と既存顧客対応を行う営業スタッフを分け、目標と責任を明確化。木材不足下で既存顧客を最重視すると同時に、新規取引先案件も取り上げることによって、新規取引先を大幅に獲得した。

大型木造建築への参入

大型木造建築のメリットが認知され需要拡大が見込まれる中で、一般流通材で最大スパン「40m」の無柱空間を実現できるATAハイブリッドトラス構法の加工体制を構築し、プレカット販売を継続中。

物流の効率化

割安な午後便の活用による一日2便/台配送の拡大や、大型トラック、トレーラー牽引による配送台数そのものを減らす施策により、配送面のコスト競争力を強化しプレカット収益に貢献中。

<p>②建築請負事業</p>	<p>ログハウスと大型建築物の受注に注力し、プレカットとのシナジー効果によるグループベースでの利益向上に貢献中。</p> <p>保育所建築の実績で評価をいただいている保育所運営会社からの紹介などにより、他社の新規保育所計画からも建築請負の受注獲得に取り組む。定期的に案件を獲得中。</p> <p>新規住宅着工戸数が落ち込む中で、リフォームニーズは高まることが想定されることから、リフォーム工事の受注体制を整備する。できるものから着手。</p>
<p>③不動産賃貸事業</p>	<p>保育所の賃貸保有数を引き続き拡大していくとともに、賃貸業専門の子会社であるシー・エス・不動産リースにおいて、住居用及び介護向け賃貸施設など新たな賃貸収益物件を取得。安定した賃料収入を確保する体制を整備する。シー・エス・不動産リースは3物件賃貸中。</p>
<p>④その他不動産販売事業</p>	<p>木造戸建て住宅を一般消費者へ直接提案するシー・エス・リアルエステートを設立。当社グループのシナジー効果を最大限活用した在来軸組工法、ツーバイフォー工法のどちらでも提案できる対応を推進することで、他社との差別化を図る。現在4か所で土地を確保し、順次販売中。</p>

<p>⑤ その他の事業</p>	<p>プレカットの副産物であるおが粉販売の100%内製化を達成し、リサイクルを促進し売上にも貢献中。</p> <p>おが粉同様にプレカットの端材についても、バイオマス用燃料チップとしての販売を開始済み。</p>
<p>⑥ 財務体質の改善</p>	<p>賃貸事業の借入期間を短期化することで、財務体質の大幅な改善を指向する。オンラインで進捗中。</p>
<p>⑦ 人財開発等</p>	<p>グループ各社との親和性が高い良い案件があれば、積極的にM&Aによる事業拡大を推進する。</p> <p>そこで重要になるのが、会社の改革とCSLのカルチャーを浸透させることができる人財の採用と育成となるため、採用の多様化と機動的な人員配置、教育体制の構築をフェーズ1で対応した。</p> <p>報酬制度を含む人事制度改革により、ガバナンス強化とROAの改善に取り組む。</p>
<p>⑧ ガバナンス強化</p>	<p>東京証券取引所の新市場に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、コーポレートガバナンスコード全項目をチェックし、必要に応じて体制を見直し。2021年12月にコーポレートガバナンス報告書を東京証券取引所に提出した。</p>

(事業戦略の一例) 保育所の賃貸や建築 (シー・エス・ランバー、シー・エス・ホーム)



2022年4月開所に向け工事最終段階の当社賃貸保育所（江戸川区）



2022年4月開所に向け工事最終段階の当社賃貸保育所（墨田区）



2022年2月の開所を待つシー・エス・ホーム建築保育所（千葉県東金市）

シー・エス・ランバーの不動産賃貸事業の中では、保育所の賃貸が大半を占めていますが、2022年4月開所予定の物件でもって全部で21物件になります。

待機児童問題が最も大きかった東京都でも需給ギャップは緩和されつつあるように見えますが、それでも場所によっては、依然として保育所新設ニーズがあります。保育所は避難経路が十分に確保された建物である必要があり、ニーズの高いエリアで良い形をした土地を丁寧に探しております。

シー・エス・ホームは他社物件も含めて保育所建設経験が豊富であり、案件を積極的に取り込んでおります。

コーポレートガバナンス

CORPORATE GOVERNANCE

C.S. LUMBER CO., INC

最終更新日:2021年12月15日

株式会社シー・エス・ランバー

代表取締役社長 中井 千代助

問合せ先:管理本部 043-213-8810

証券コード:7808

<https://www.c-s-lumber.co.jp>

当社のコーポレート・ガバナンスの状況は以下のとおりです。

I コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及び資本構成、企業属性その他の基本情報

1. 基本的な考え方

当社のコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、木材に関する事業を通じて、お客様に満足して頂くとともに、株主・従業員・取引先等、すべてのステークホルダーとの良好な関係の構築による企業価値の向上を目指すことにあります。そのため実効性のある仕組みを取り入れることによって、健全で活発な企業経営を進めてまいります。

[コーポレートガバナンス・コードの各原則を実施しない理由] 更新

[補充原則1-2④ 機関投資家・海外投資家の権利行使にかかる環境整備]

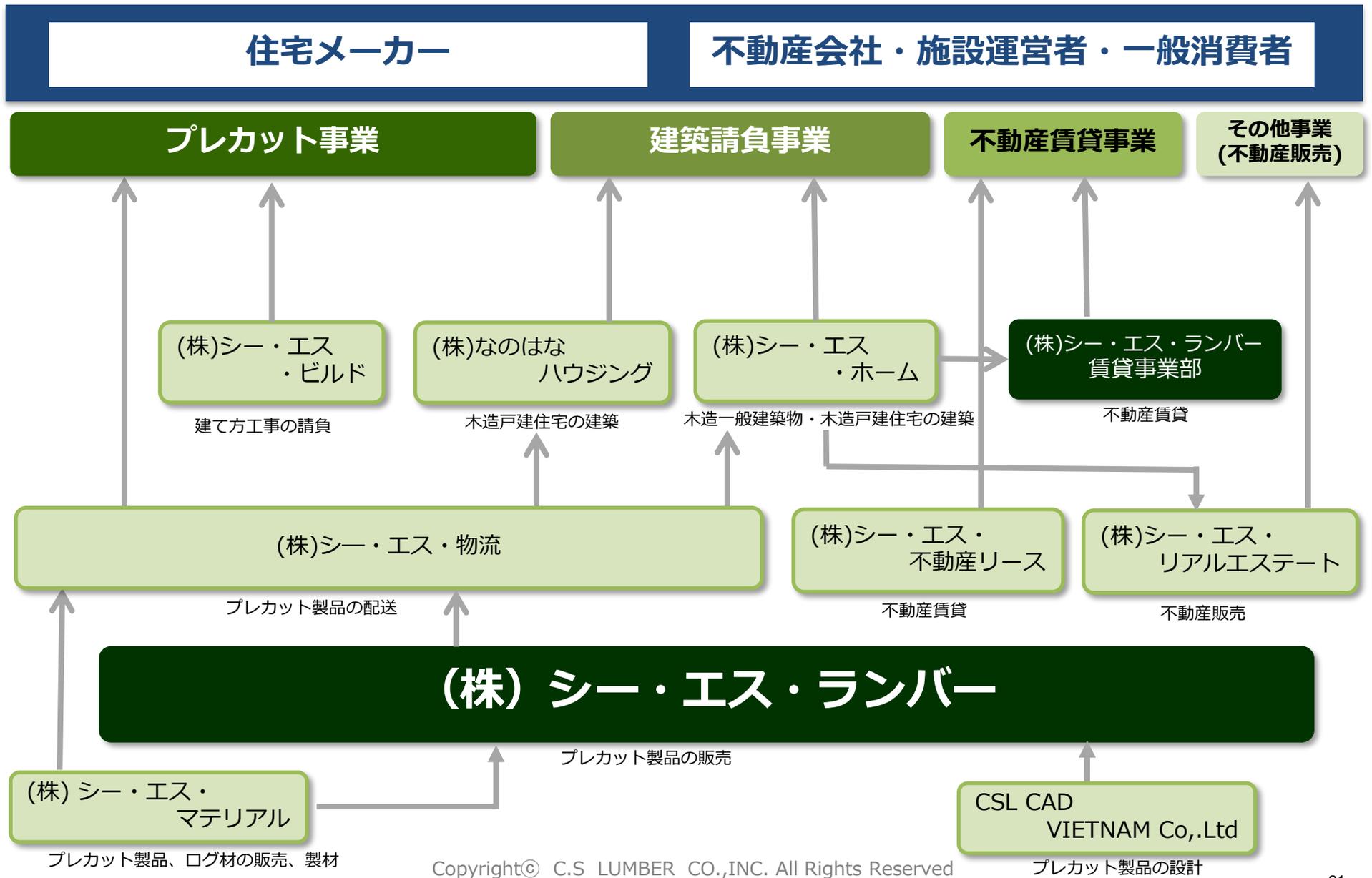
当社は、2021年5月期(第39期)定時株主総会から、インターネットによる議決権行使を採用しております。議決権電子行使プラットフォームにつきましては、当社の株主における機関投資家や海外投資家の現時点での比率等を踏まえ、現在は採用しておりませんが、今後当該比率等の推移を勘案して必要と判断した場合には、導入を検討してまいります。

また、招集通知の英訳につきましては、当社の株主における海外投資家の比率等を踏まえ、現在は実施しておりません。今後当該比率等の推移を勘案して必要と判断した場合には、導入を検討してまいります。

東京証券取引所の市場制度改革に伴い、当社は現在のジャスダック市場からスタンダード市場に移行する予定です。コーポレートガバナンス・コードで示されている指針全83項目に対して、当社のガバナンス体制を改めて確認し、必要に応じて見直しも図り、最終「コーポレートガバナンス報告書」を東京証券取引所に提出しました。

原則どおりではないガバナンス体制もありますが、今後も必要に応じて見直しの検討を続けていく所存です。

1. 当社の概要
2. 2022年5月期 第2四半期決算概要
3. 2022年5月期業績予想
4. ウッドショックの現状と今後の見通し
5. 参考資料



事業概要 (1) プレカット事業①



在来軸組工法における設計 (CAD)、木材のプレカット加工及び販売
ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売

「木造建築の主要2工法に対応」した加工・販売

在来軸組工法 (山武工場)

日本で最も主流の工法
基礎の上に木の土台を据えて、柱と柱を梁で水平につぎ、
対角線を筋交いで補触する

ISO9001 : 2015認定
登録証番号 : JQA-QM8720
登録活動範囲 :
木造住宅用プレカット材の
設計、製造



(財)日本住宅・木材技術センター認定
優良木質建材等認証
CSL高耐久性機械ブ
レカット部材 (2種-
ACQ)



認定番号 AQ-099-A1-1



ツーバイフォー工法 (東金工場)

枠状に組まれたツーバイ材に構造用合板を打ち付けた壁や
床 (面材) で支える「枠組み」構造
隙間が大変少なく、気密性・防音性に優れている

JAS認定工場 (全国木材検査・研究協会)

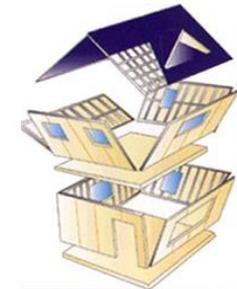
認定番号 : JLIRA-A-016

認定品目 :

枠組壁工法構造用製材

認定区分 :

人工乾燥枠組壁工法構造用製材



北欧などからの製品輸入が中心のログハウスプレカット事業に参入 (2019年)



カントリーテイストのある木造家屋が都市部住宅街にも建ち始めている傾向を捉え、ログハウスメーカーとタイアップしてプレカットを開始
在来軸組工法、ツーバイフォー工法の技術も必要とされており、親和性大

プレカット事業を軸に、建築請負事業も展開している

ATAハイブリッドトラス構法のプレカット事業に参入 (2020年)

「無柱大空間を可能にした非住宅・中大規模木造トラス構法」を生んだ株式会社ATA (アタ社) 様の提携プレカット工場となる

商業・工場・スポーツ施設など建物用途は多岐多様、時代の流れは鉄骨から木造へ



木造戸建住宅・木造一般建築物の建築（大型木造施設等）の建築請負

当社のプレカット製品を仕入れて、
木造住宅・保育所等の大型木造施設を合わせ
年間約200棟以上施工



茂原市介護施設

- ・構造：木造2階建
- ・延床：996.26㎡
- ・居室数：23室



なのはなモデルハウスA棟

長期安定契約を基本方針とした不動産賃貸及び管理



保育所 (中野区)

- ・ 構造 : 木造 2 階建
- ・ 土地 : 483.41㎡
- ・ 延床 : 357.74㎡
- ・ 定員数 : 63名
- ・ 契約期間 : 2020.1.1
~2040.3.31

保育所 (文京区)

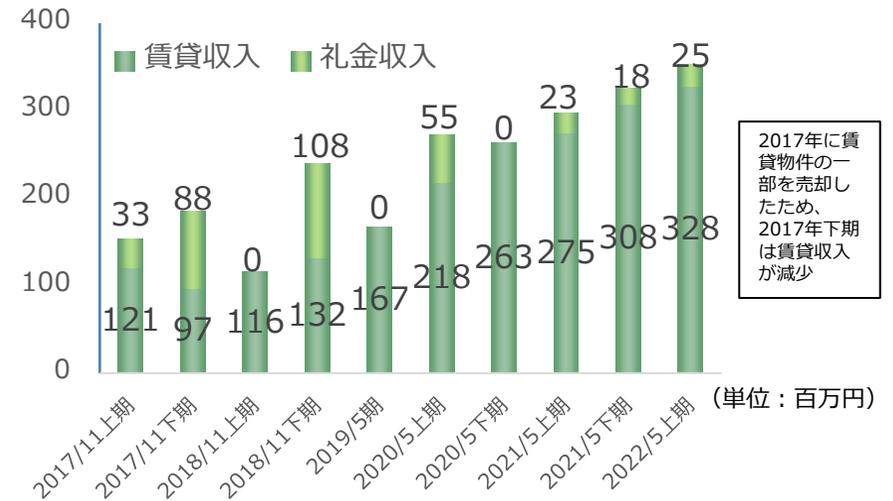
- ・ 構造 : 鉄骨造 3 階建
- ・ 土地 : 254.18㎡
- ・ 延床 : 378.00㎡
- ・ 定員数 : 59名
- ・ 契約期間 : 2019.11.1
~2040.3.31



保育所 (台東区)

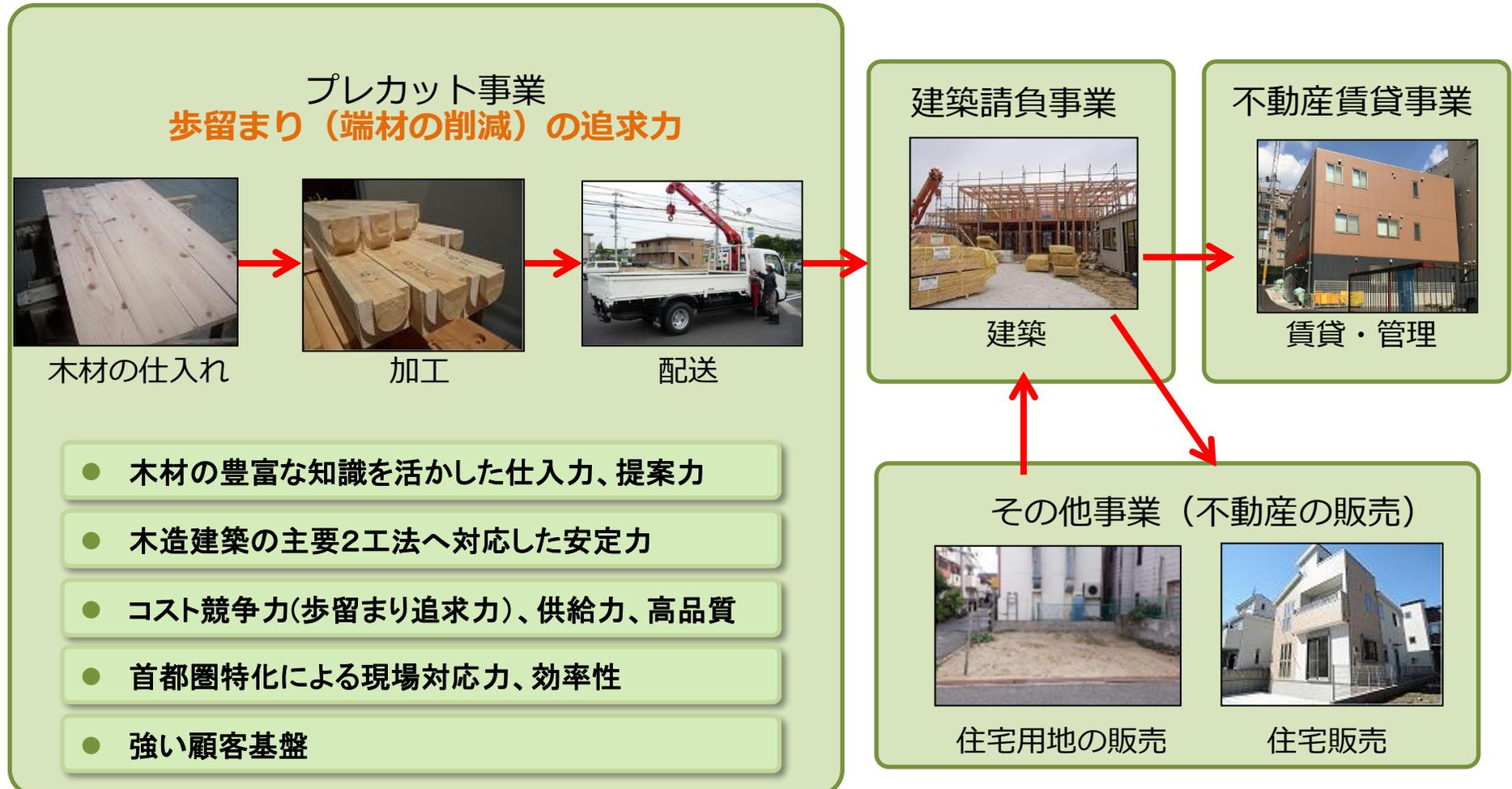
- ・ 構造 : 鉄骨造 4 階建
- ・ 土地 : 155.34㎡
- ・ 延床 : 387.44㎡
- ・ 定員数 : 60名
- ・ 契約期間 : 2018.10.1
~2034.3.31

賃貸収入・礼金収入の推移



付加価値を創造する木造建築のトータルサービス

- 材木店経営で培った木材（業界）に関する豊富な知識を活かし、木材の仕入れから加工、建築、賃貸・販売までグループ内で行うことで、付加価値を創造



ピッキングシステムと新式プレカット加工ラインの導入により、**高い歩留まり・生産性を実現**

ピッキングシステム (邸別ピッキング用自動倉庫)

更なる「歩留まり追求」を目的に導入

⇒ **歩留まりが約10%向上**

- ・ コンピュータ制御による在庫管理技術の向上に伴い、必要な木材のより適切な仕入れが可能となり、**材料費を削減**
- ・ 材料の木材の入庫、出庫の自動化により、**生産性も向上**



新式プレカット加工ライン



- ・ 加工能力向上に加え、従来難しかった複雑な加工も可能になり機械化率が上昇し、**生産性も向上**
- ・ 製品の**品質安定化**にも貢献

全部位 (壁・床・屋根) のパネルを加工し、現場に配送

- ・ 建築現場における工数が大幅に削減される他、高度技術者も不要となり、**付加価値の高い製品**を提供



壁パネル



床パネル



屋根パネル

大量かつ安定供給が可能な東金工場

- ・ 広大な敷地 (62,467㎡) の東金工場に設備を集約し、パネルの**大量生産・保管、安定供給体制**を確保
- ・ 東金インターから約10分の好立地で、**効率化された自社配送**

機械化が進んだ生産ライン

- ・ 在来軸組工法で培ったノウハウを活かし、**機械化を推進**
複雑な形状の加工においても機械化を進め、高品質、高い生産性を確保



マルチカットライン
(木材のカット)



マルチカット製品



パネルシージングライン
(自動釘打ちマシン)

ベトナム子会社でのCAD設計

標準的な建物の設計を行い、**コスト低減**

- クロス (直切り) カットライン 2ライン
- マルチカットライン 2ライン
- パネルシージングライン 2ライン

当社の強み (4) プレカット事業 (首都圏に特化)

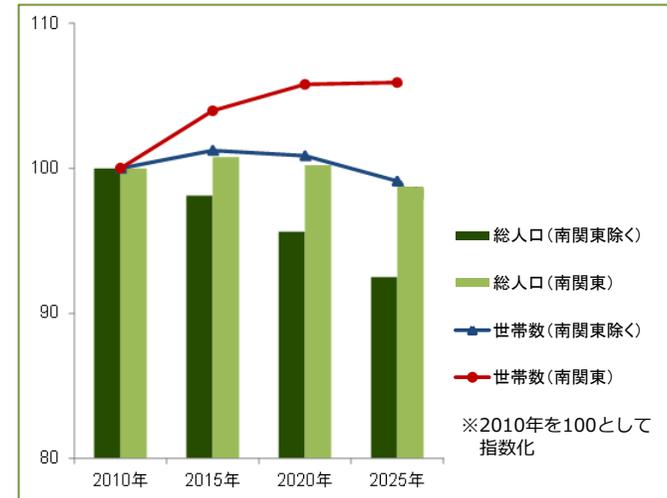


人口が集中する首都圏 (1都4県) に絞った生産・営業拠点



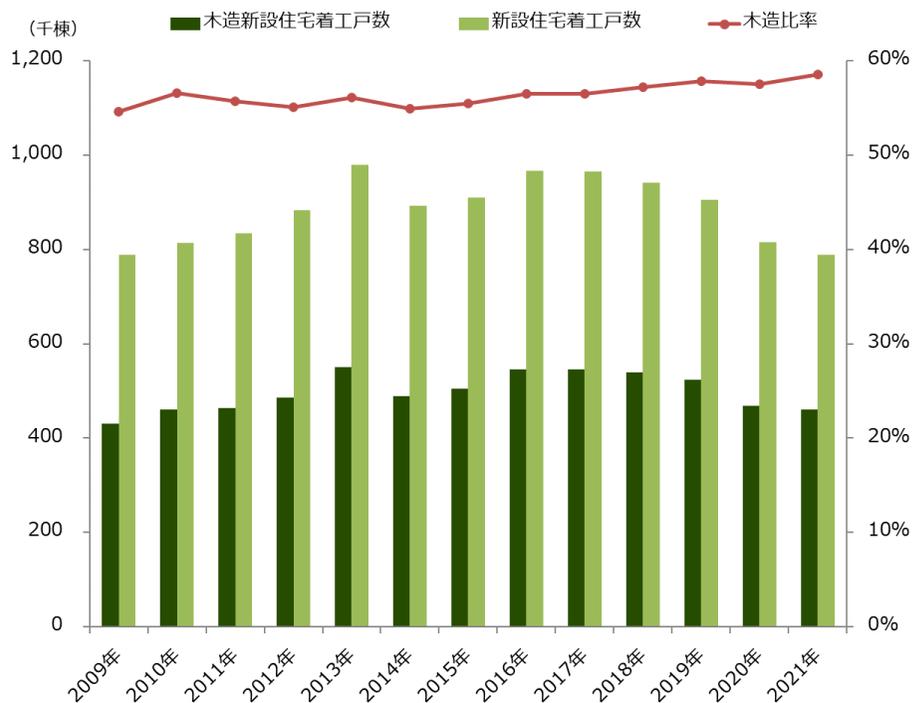
展開エリアを絞ることにより

- ・お客様のニーズへの迅速な対応 (企画・設計・アフターサービス)
 - ・営業効率
 - ・配送効率
- 生産性向上による
コスト競争力

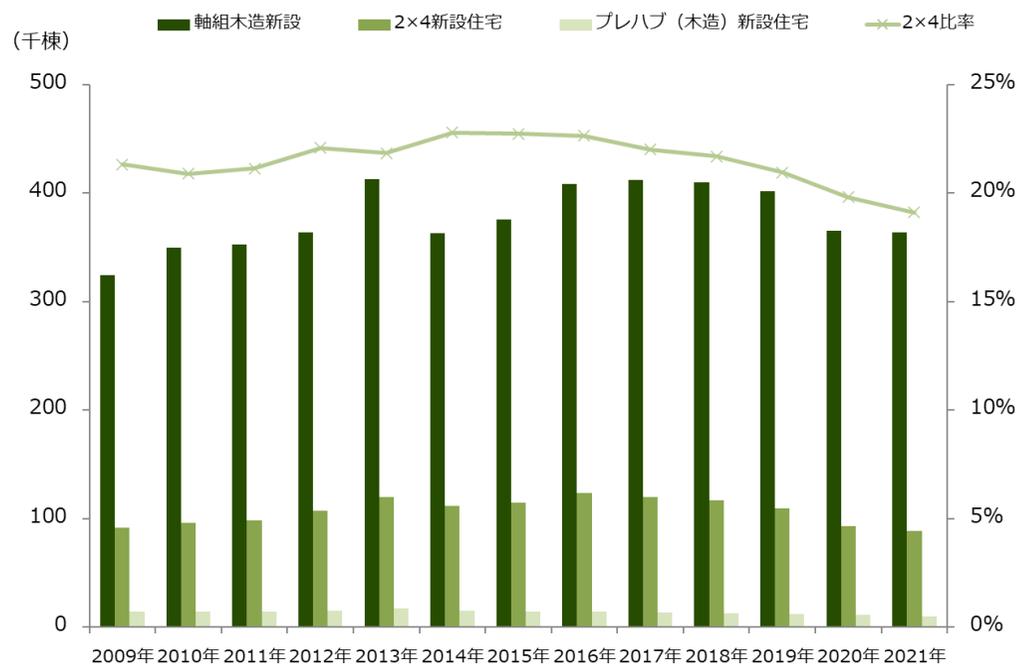


出所：国立社会保障・人口問題研究所「全国人口将来推計」より当社作成

新設住宅着工戸数に占める木造新設住宅着工戸数の割合



工法別木造新設住宅着工戸数とツーバイフォー比率

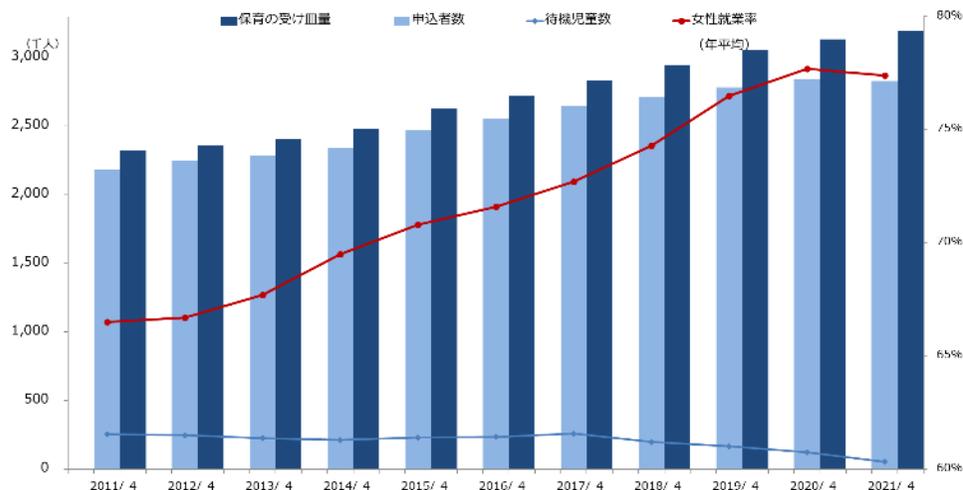


出所：国土交通省「建築着工統計調査住宅着工統計」より当社作成（2021年は、1月～11月の実績）

待機児童数の状況

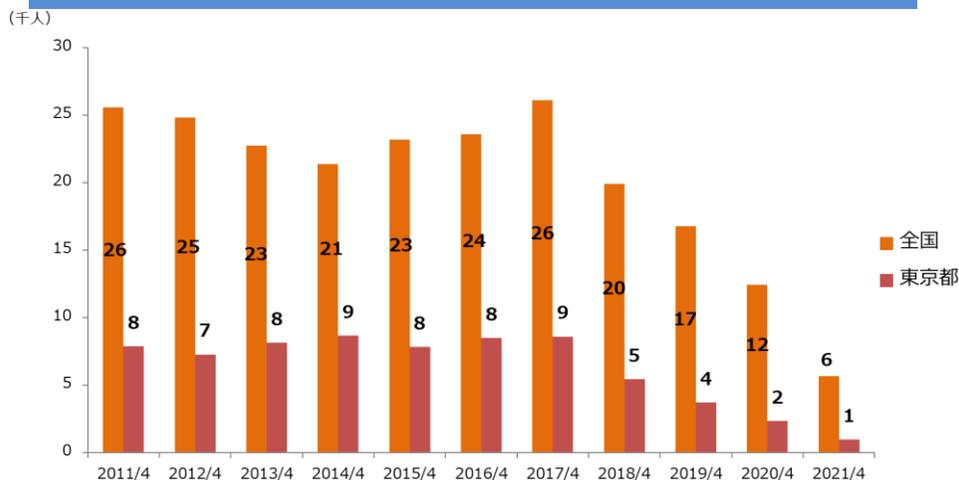


女性就業率、保育所受け皿量、待機児童数の推移



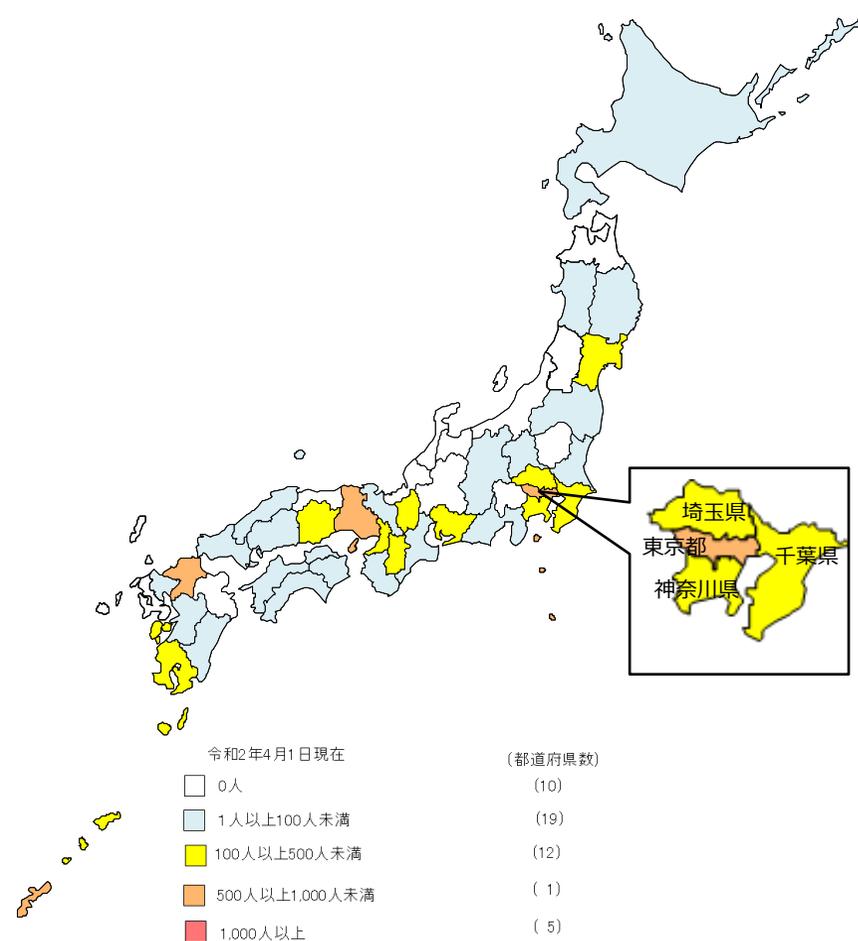
出所：厚生労働省「令和3年4月の待機児童数調査のポイント」より当社作成

全国待機児童数に占める東京都の割合



出所：厚生労働省資料「保育所等関連状況取りまとめ（令和3年4月1日）」
東京都資料「保育所等利用待機児童等の状況」より当社作成

地域別待機児童数の状況



出所：厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ」より当社作成

気候変動への対策－脱炭素社会の実現に向け、木材資源の有効活用を推進

わたしたち、シー・エス・ランバーグループは、社是である

Customer Satisfaction through Lumber

木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

の下、人権の尊重や地球環境への配慮、その他のサステナビリティを巡る課題へ対応することが重要な経営課題であると位置づけ、これらの課題に積極的に対応することにより、企業価値の向上を図り、持続的に成長してまいります。

特に、**2050年カーボンニュートラル**－脱炭素社会の実現に向けて、炭素を貯蔵する働きのある木材資源を有効活用するための様々な取り組みを推進し、地球環境の維持、特に地球温暖化防止に対して、積極的にその役割を果たしてまいります。

サステナビリティに関する活動の詳細は、

ESG報告書

環境に優しい持続可能な企業経営をめざして（2022年版）

をご参照ください

(URL: <https://www.c-s-lumber.co.jp/ir/esg.html>)



株式会社シー・エス・ランバー

【お問い合わせ先】

株式会社シー・エス・ランバー

取締役 管理本部長 鈴木 正裕

TEL 043-213-8810

FAX 043-213-8819

URL <https://www.c-s-lumber.co.jp>

<ご案内>

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご利用者自身の判断において行われるようお願い申し上げます。

なお、いかなる目的であれ、本資料を当社の許可なく複写複製等を行わないようお願い申し上げます。